

にし(24)の日と道徳科授業について

今日は24日、にしの日です。朝から生徒会執行部が元気にあいさつ運動を行ってくれました。また、朝の校内放送でも、「あいさつをしましょう」と呼びかけがありました。

あいさつは「人と人をつなぐ潤滑油」と言われます。丁寧にあいさつをすると、相手はとても気持ち良くなります。校内でも気持ちの良いあいさつがたくさん見られます。これからも明るく気持ちの良いあいさつを心掛けてほしいと思います。



話は変わりますが、今日の1時間目は道徳科授業がありました。2、3年生は、クラスごとに異なる題材で学習をしていました。1年生は、来週の自然教室に向けて、今日は、しおりの綴じ合せをしていました。道徳の授業は別日と振替をしています。

2、3年生の様子を見ると、どの学級も真剣に考えている様子が伝わってきました。資料をもとに、先生方の問いかけに対し、自分の考えをまとめたり、友達の意見を聞いたりすることで、「何が大切か」、「どのような行動が良いのか」、「相手にどう接することが良いか」、などをそれぞれ考えていました。このように集団で学習したり生活したりすることで、心を耕し、豊かな感性を身につけていきます。

温かく思いやりをもって楽しい学校生活を送れるように、これからも心を耕してほしいと思います。

